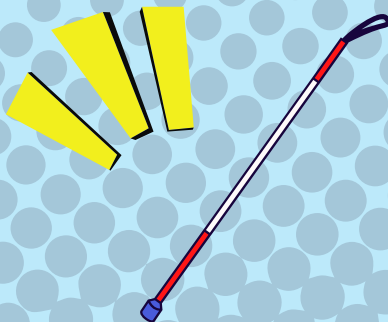
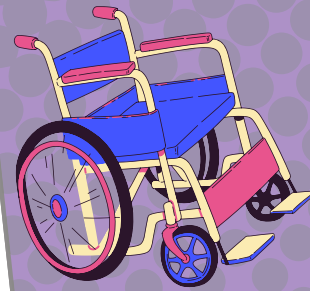


ふだんの
くらしの
しあわせ



／社協と学校でつくる／

令和4年度

福祉教育

活動報告

社会福祉法人 門真市社会福祉協議会



みんなの
ふくしを
考えよう



門真市社会福祉協議会について



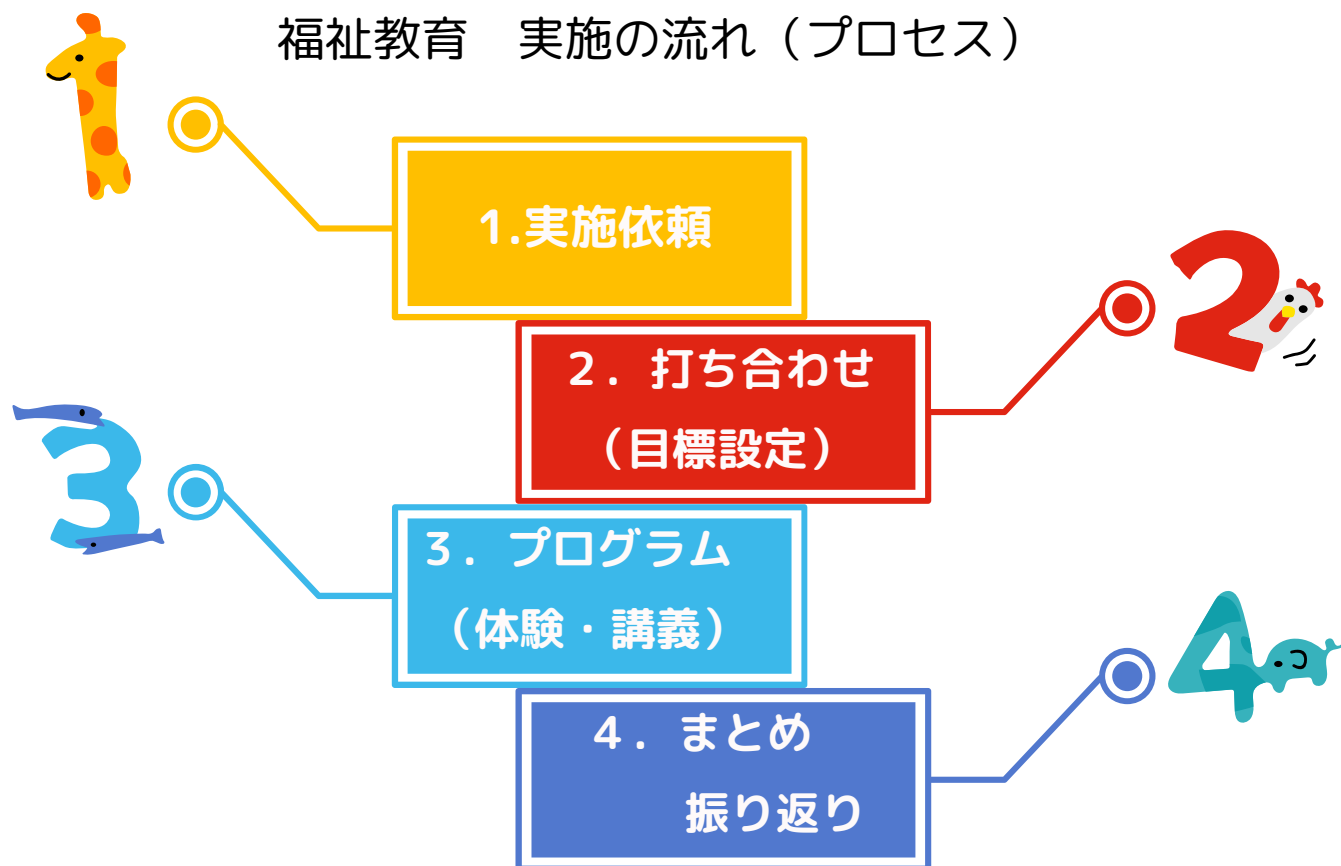
社会福祉協議会(通称：社協)は、民間の社会福祉活動を推進することを目的とした営利を目的としない民間組織です。

門真市社協では、「心ふれあう福祉のまちづくり」を目指して、地域で暮らす皆様のほか、様々な福祉関係機関の参加・協力のもと、様々な地域活動をおこなっています。

社協とつくる福祉教育

社協では地域住民が互いに地域で支えあう担い手を育成するために福祉教育に取り組んでいます。

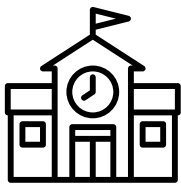
福祉(ふくし)をより身近なもの「ふだんのくらしのしあわせ」として考え、子どもから高齢者まで幅広い世代の方を対象に取り組んでいます。



先生方と共に作り上げていくことが理想の形です。

福祉の学習や活動を通して
豊かな人材の育成やクラスづくりを目指しましょう!!

福祉教育プログラム



本会で取り組む、主なプログラムです。
打ち合わせを通して、学年に応じた内容や取り組みを企画させていただきます。

【学習テーマ】	【プログラム例】
ふくしとわたし	講義（ふくしについて考える機会を提供します）
肢体不自由（車いす）	当事者の講話、車いす体験
高齢者	疑似体験、認知症理解(認知症サポーター養成講座)
視覚障がい	当事者の講話、点字体験、アイマスク体験
聴覚障がい	当事者の講話、手話体験
障がい者スポーツ	ボッチャ体験
発達障がい	講義、疑似体験

令和 4 年度 福祉教育実施校 (順不同)

沖小学校	3 年	ボッチャ体験
上野口小学校	3・5 年	肢体不自由、視覚、聴覚、発達障がい
脇田小学校	5 年	ボッチャ体験
門真みらい小学校	3・4・5・6 年	肢体不自由、視覚、聴覚、知的・発達障がい
二島小学校	3・4・5・6 年	ふくしとわたし、肢体不自由、視覚、聴覚、発達
第二中学校	1・2・3 年	ボッチャ体験、聴覚
第五中学校	2 年	ふくしとわたし
第七中学校	1 年	肢体不自由
門真なみはや高校	2 年	ボッチャ体験、笑いヨガ体験

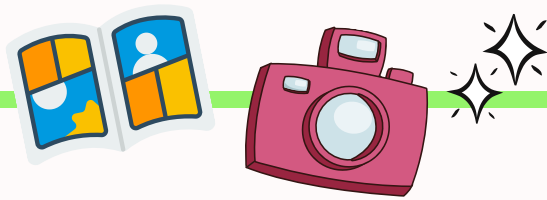
協力団体の紹介 (順不同)

福祉教育の実施にあたり、社協だけではなく門真市内当事者団体をはじめとする多様な団体や方々にご協力いただいています。



【協力者および団体】	【団体概要】
門真市身体障害者福祉会ろうあ部会	聴覚障がいのある方の当事者団体です。聴覚障がいのある方の暮らしやすいまちづくりのために活動されています。
NPO法人門真市手をつなぐ育成会	「知的障がい・発達障がい児者」の保護者や関係機関の方で組織された団体です。障がい理解・啓発事業・児童通所支援・Hugくみ相談などの活動をしています。
視覚障がいのある方々	門真市内で暮らす視覚障がいの方々です。スポーツやテーブルゲームなど当事者同士が集まり過ごされています。
門真市手話サークル「くすの木」	門真市内で活動するボランティアグループです。手話の学習や通訳など、ろうあ部会と共に幅広い活動をしています。
点訳サークル「さつき」	門真市内で活動するボランティアグループです。本や読み物を点字に訳す点訳活動をしています。
手話グループひまわり	門真市内で活動するボランティアグループです。手話の学習会やイベントでの手話通訳などの活動をしています。
障がい者相談支援センター ジェイ・エス	障がいのある方やそのご家族等の相談をお聞きし、地域で安心した生活ができるよう問題解決に向けたお手伝いをを行います。
ゆめ伴プロジェクトin門真実行委員会	福祉関係やNPOなど多様な団体が協働し活動する団体です。認知症の方や高齢者が輝くまちづくり事業の推進を目的とした活動を行います。

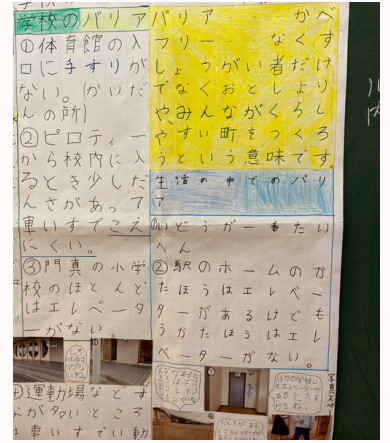
活動のようす



▲ 社協職員による講義



▲ 体育館での車いす体験



▲ 生徒による壁新聞の作成



▲ 笑いヨガの体験



▲ 協力団体の方による点字の打ち方の説明



▲ 点字体験



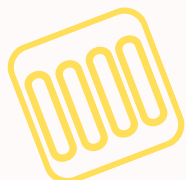
▲ 聴覚障がいの学習



▲ 各チームに分かれてボッチャ体験



▲ テーマごとにグループワーク



▲ 当事者を交えた風船バレー

先生方からの声 (実施後のアンケートよりコメント抜粋)

福祉教育に関わった先生方からプログラム内容に関することや子どもたちの様子などについてご意見や感想をアンケートにて回答いただきました。一部のみですがご紹介致します。



(小学3年生 担任)

実際に当事者の方の話を聞いたことで、他人事ではなく、自分事として考えられた児童が多かったです。



(小学3年生 担任)

教室でもユニバーサルデザインやバリアフリーになっている物を探していました。(例：階段にすべり止めがついている等)



(小学4年生 担任)

点字に興味を持ったようで、身の周りにある点字などを生活の中で見つけられるようになりました。

NEWS ①

かどま社協だより
mini

手話は 見ることば です

～コミュニケーションや情報のバリアフリーを目指して～

令和4年12月に門真市で「**門真市文化や情報とふれあう手話言語条例**」が制定され、令和5年4月に施行されました。手話言語条例の目的は、手話は言語である」という認識のもと、手話言語や聴覚障がいを持つ方への理解を促進し、障がいの有無に関わらず支え合いの地域社会を目指すことです。

本会では、昭和53年から手話教室を開催し、手話の普及と手話サークルの活動支援を担ってきました。現在も門真市身体障害者福祉会ろうあ部会と手話サークル「くすの木」の協力を得ながら、多くの市民の方に手話教室を受講いただいています。

音声言語と手話言語のバリアがなくなることが、障がいを持つ方の社会参加を促進し、コミュニケーションや情報のバリアを無くすことにつながります。

NEWS ② 門真市社協ボランティアセンターの

LINE 公式アカウント

やっています！！

ID検索でも登録可能

@216iabtx

＼友だち募集中！／



追加はコチラから

LINE

大好評

友だち追加

220人

突破！！



FAX 06-6904-1456
門真市社会福祉協議会 福祉教育 担当者 あて

【福祉教育申込書】

令和 年 月 日

★本紙はコピーしてお使いください。

記入者：_____

学校名	
担当者氏名	
電話番号	
学 年	(例)4年生
生徒人数 クラス数	(例)1組30名、2組32名
依頼内容	(例) 点字体験や当事者のお話を聞いて、視覚障がいについて理解を深めたい 等
実施予定時期 (おおよそ)	

- お申込は本紙を記入の上、FAXにてお願い致します。
- 申込書が届き次第、担当者からご連絡させていただきます。
- 申込は実施の1～2か月前ごろのタイミングでお願いします。（早めはOKです）
実施にあたり、打合せ、準備が必要です。
- 備品の貸出も行っております。（※門真市内での活動に限ります）

（備品一覧）

【備品】	点字版	アイマスク	車いす	ボッチャ	ボッチャ 専用コート	ボッチャ用 ランプ	高齢者疑似 体験セット
【数】	35台	38個	要相談 在庫次第	7セット	7セット	2セット	10セット

- 新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策の上、実施致します。
- 2学期は申込が混み合う可能性がありますので、ご注意ください。
- 上記に関するお問い合わせ（平日9：00～17：30）
福祉教育担当者まで【06-6902-6453】にご連絡ください。
※不在や他業務対応中の場合は折り返しご連絡させていただきます。



